

日言協 05-19 号  
日理協 23 第 43 号  
令和 5 年 9 月 4 日

厚生労働省  
保険局長 伊原 和人 殿

一般社団法人 日本言語聴覚士協会  
会 長 深 浦 順 一  
公益社団法人 日本理学療法士協会  
会 長 斉 藤 秀 之  
(公印省略)

## 令和 6 年度診療報酬改定に関する要望

日頃よりリハビリテーション専門職の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

近年、精神疾患患者数は増大傾向にあり、さらに高齢患者の割合も増大していると報告されています。精神疾患患者は、疾病に対する治療のために長期の入院を必要とするため、身体活動の低下、フレイル、摂食嚥下機能障害、転倒・転落、廃用症候群が顕在化しています。そのため、精神科病棟における身体機能や摂食嚥下機能等への専門的介入が喫緊の課題となっています。令和 6 年度の診療報酬改定に向けて、日本理学療法士協会と日本言語聴覚士協会では、精神疾患患者に対する身体機能や摂食嚥下機能等への専門的介入の在り方について検討して参りました。

つきましては、別紙の通り診療報酬改定に関する要望をいたしますので、ご尽力賜りますようお願い申し上げます。